



1月臨時会 … 2月臨時会 … 3月定例会 ……………

新型コロナ、記録的な大雪・・・ 補正予算で相次ぎ対応

終息の先行きが見通せない新型コロナウイルス感染症や今冬の記録的な大雪に迅速に対応するため、1月臨時会と2月臨時会、3月定例会において補正予算案を可決・承認しました。

安心の市民生活確保のために、今後も必要な対策を打っていく必要があります。

主な事業は次のとおりです。



■新型コロナ対策

- 緊急医療対策事業【5140万円】
ワクチン接種対応に係る費用補正
- 経営持続化支援事業【2億8000万円】
事業収入が減少している市内中小企業・個人事業者等への補助金
- 大規模宴会施設運営事業者支援事業【6000万円】
事業収入が減少している市内の大規模宴会施設への補助金
- 小中学校管理費【2280万円】
冬季における対策を強化するための消耗品等購入

■大雪対策

- 除雪費【16億円】
幹線道路、生活道路等の除排雪費増額
- 日常生活支援事業【1000万円】
一人暮らしの高齢者等の雪寄せ雪下ろし実施件数増加のための補正
- 農業災害等緊急支援事業【5億4410万円】
農家等への除排雪費用や農業用施設等の撤去・復旧費用に係る補助金
- 果樹産地等緊急総合支援事業【450万円】
樹園地の融雪剤散布等に係る費用の支援

3月定例会 ……………

事業者に寄り添った支援策を！ 新型コロナ対策についての附帯決議案を可決

3月定例会の審議において、2月臨時会を経て実施された「緊急事業者支援事業」の実績件数が見込みより大幅に下回っているという状況が明らかになりました。支援が受けられない主な理由として、確定申告による減収算定の条件がネックとなっているものと思われます。

このため、3月定例会最終日の本会議において加藤勝義・産業建設常任委員長から「今後において適切な事業者支援の実施を求める」附帯決議案が提出され、全員賛成でこれを可決しました。

コロナ禍において、迅速な支援策が必要ですが、一方で市内経済や事業者の状況を的確に把握し、真に必要な支援が行き届く制度設計が求められます。

決議内容

1、今回の緊急事業者支援事業において支援の手が届かなかつた事業者に対しても実情に沿った支援をするために、新年度において早急に新たな支援事業を創設すること。

2、今回の事業で問題とされた、国、県等からの支援補助金等を含んだ、所得税申告ベースでの減収算定を改め、単純な売上ベースでの比較とするなど実情に即した基準に基づき支援を行うこと。

ブログ「横手市議会議員 青山ゆたかの活動日記」好評(?)更新中! <http://blueyama.com/blog/>

フェイスブック：青山豊 (yutaka aoyama)